

研究発表大会 プログラム

2019年5月18日 国際P2M学会 2019年度 春季研究発表大会
「P2Mによる社会問題解決(地域から国家, アジア, グローバルへ)」

早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館 6~8階

会場	WB会場	A会場	B会場	C会場	D会場
	606 教室(6階)	605 教室(6階)	702 教室(7階)	703 教室(7階)	710 教室(7階)
研究発表	W-Bridge トラック	次世代 P2Mトラック	社会・地域・海外トラック	人材育成、他 トラック	リスク、他 トラック
座長	1-4 沖浦文彦 5-7 永井祐二	1-4 佐藤達男 5-8 和田義明	1-4 清田守 5-7 下田篤	1-3 西田絢子 4-7 玉木欣也	1-4 加藤智之 5-7 濱田佑希
9:30-9:50	WB-1:岡田久典, 永井祐二, 中野健太郎, 中川唯, 勝田正文: SDGs 事業の形成に関する P2M 分析	A-1:山北剛史: アジャイル開発スクラム実践時におけるコミュニティマネジメントとしてのプログラムの変化	B-1:石川直樹, 下田篤, 田隈 広紀:地域コミュニティ活性化に向けた青年期の主体的参加を促すネットワーク基盤の設計	C-1:玉木欽也:P2M フレームワークを適用した地方創生ディレクターの人材育成 -顧客購買サービスプロセスに対応した着地型観光プロモーションに向けたコンテンツマーケティングとその事例研究-	D-1:Yunhee CHOI, Shunji MATSUOKA: Project Management of High-Level Radioactive Waste (HLW) Disposal and Social Acceptance
9:50-10:10	WB-2:永井祐二, 中野健太郎, 井原雄人, 岡田久典, 関宜昭, 網岡健司, 松岡俊和:環境を基軸とした市民参加型コミュニティにおける P2M 手法の適用分析	A-2:岡田公治, 林努:プロジェクトマネジメント行動ルールに関する機械学習エージェントの構築を通じて得られた知見	B-2:下田篤, 谷口洋司:企業課題解決との対比に基づく社会課題解決のための超スマート社会実現方法の考察	C-2:新目真紀, 玉木欽也:P2M を応用した教育組織マネジメントのレジリエンス向上効果に関する考察	D-2:山田美香, 松岡俊二, 李洸昊, CHOI YUNHEE:P2M 理論による高レベル放射性廃棄物(HLW)地層処分政策の社会的受容性の考察 欠如モデルによる市民会議の事例分析
10:10-10:30	WB-3:井原雄人, 天谷賢児, 江川賢一, 岡田久典, 永井祐二:Within one mile に着目した住民主導型コミュニティ交通の合意形成手法に関する研究	A-3:山本秀男: Society 5.0 に向けたデジタル情報の活用に関する考察	B-3:谷口邦彦:「ぶらなル」~Society5.0 とSDGs との距離を縮める~	C-3:安部和秀, 高野研一:プラント建設プロジェクト遂行組織のレジリエンス向上に向けたチームワークの強化の方策	D-3:森俊樹, 内平直志:プロジェクトとプログラムのリスクマネジメントにおける機械学習と知識創造の統合アプローチ Machine-in-the-loop(機械参加型)知識創造プロセスの提案
10:30-10:50	WB-4:中野健太郎, 永井祐二, 小野田弘士, 永田勝也:住民と行政の関係構築における P2M 手法の適用分析~豊島事件を題材として~	A-4:亀山秀雄: 社会問題解決のための研究開発プログラムにおけるプログラムオフィサーの役割と P2M 理論	B-4:原雅彦:ICTを活用した新たなプロモーションのあり方に関する実装~デザインプランニングからプロモーションマネジメントP(2+2)Mの挑戦~	C-4:新保利弘:現場力を高めるためのプログラムオフィサーの役割	D-4:太田結隆, 加藤勇夫, 加藤瑠人, 越島一郎, 橋本芳宏:インシデント対応プログラムに関する基礎的研究 -事前対応のためのフレームワーク-
10:50-11:10	WB-5:李洸昊, 永井祐二, 松岡俊二:福島復興における地域課題解決型プラットフォームマネジメントの実践 ふくしま学(楽)会を事例に	A-5:武富為嗣:人口減少/低成長時代の P2M から見た社会的価値創出の基本的な考え方 -投資対効果に沿ったプログラム価値の算定・評価-	B-5:笹尾隆二郎:ODA 事業の効果的な実施のための P2M 理論からみた、あるべきプログラム/プロジェクトマネジャー像の追求	C-5:西田絢子:P2M-OJT の実践事例の報告および効果検証	D-5:林優希, 山崎晃:太陽光発電の普及のためのマネジメントの考察
11:10-11:30	WB-6:百村帝彦, 三柴淳一:違法伐採対策への木材関連企業の対応 クリーンウッド法の有効な施行に向け	A-6:久保裕史, 垣本隆司:P2M を用いたビジネス・エコシステム戦略構築法の提案	B-6:長島匠, 岡田久典, 中野健太郎:コミュニケーションマネジメントを活用した農山村での新事業創出支援法の提案 ~イタリアブーリア州の事例を参考に~	C-6:浅野友希, 田隈広紀, 西田絢子, 串田直也, 長尾徹, 宮崎愛弓:アイデア再解釈における独自性記述向上に向けた内省準備シートの提案	D-6:大内公安:既存要素技術の適性活用による新たな価値創出の社会受容に関する研究(その1) ~ローカルビジネスのグローバル展開のためのプラットフォームの在り方~
11:10-11:50	WB-7:三柴淳一, 百村帝彦:違法伐採対策への家具業界の対応の現状と課題	A-7:佐藤達男:コレクティブ・インパクトの実践におけるプログラムマネジメントとインクルーシブデザインの融合	B-7:日高正人:地域資源の価値創造に資するネットワークの構築に関するプロセス研究 ~新たな価値創造におけるインセンティブと協働に関する事例分析~	C-7:宮崎愛弓, 田隈広紀, 西田絢子, 稲坂晃義, 浅野友希, 長尾徹:野外科学的方法に基づくプロファイリング 初期洞察手順の提案	D-7:中川唯, 岡田久典, 永井祐二:原子力防災における P2M 理論の適用:3Sモデルのフレームワークから見た原子力災害時の避難計画づくり
11:50-12:10		A-8:小原重信:社会信頼革命における P2M ブロックチェーン応用の実効性			

12:10-13:00	昼休み <12:15~12:45 理事・評議員会 【会場: 810 教室(8 階)】 >
13:00-13:25	【会場: 801 教室(8 階)】 総会
13:25-13:30	休憩 (会場準備)
13:30-13:50	【会場: 801 教室(8 階)】 会長挨拶 開催校挨拶 早稲田大学 環境総合研究センター所長、大学院環境・エネルギー研究科長 勝田正文 氏(教授) 発表奨励賞及び感謝状の発表
13:50-14:50	【会場: 801 教室(8 階)】 基調講演 1 演題: 「SDGs の現状と P2M の活用」 講師: 中村 明 氏(日本工業大学大学院 技術経営研究科 教授、(独)国際協力機構)
14:50-15:50	【会場: 801 教室(8 階)】 基調講演 2: 演題: 「イオンが取り組む持続可能な社会構築の事例」 講師: 山本 百合子氏(公益財団法人イオン環境財団 事務局長、日本学術会議 連携会員)
15:50-16:00	休憩 (会場準備)
16:00-17:40	【会場: 801 教室(8 階)】 パネルディスカッション テーマ: P2M による社会問題解決(地域課題から国家そしてアジア・グローバルへ) ー 必要な人材育成と P2M ー モデレーター: 岡田久典(早稲田大学理工学術院/環境総合研究センター上級研究員、W-BRIDGE 副代表) パネリスト : (五十音順、敬称略) 亀山秀雄(東京農工大学 名誉教授、(独)環境再生保全機構 プログラムオフィサー) 田中美保((株)朝日新聞社 経済部 記者) 中村 明 (日本工業大学大学院 教授、(独)国際協力機構) 松岡俊二(早稲田大学 アジア太平洋研究科 教授、早稲田大学レジリエンス研究所長、 ふくしま未来創造リサーチセンター長) 山本 百合子(イオン環境財団 事務局長、日本学術会議 連携会員)
17:40-17:45	【会場: 801 教室(8 階)】 閉会挨拶 日本農業経営大学校 校長 堀口健治 氏 (早稲田大学名誉教授、元副総長・常任理事)
17:45-18:00	休憩 移動時間
18:00-19:30	【会場: 高田牧舎】 懇親会 東京都新宿区戸塚町 1-101 (早大南門通り)